



牛久シャトーとそれに関するワイン文化・歴史が 令和2年度日本遺産に認定

問 文化芸術課 ☎874-3121

甲州市との共同申請 3年目にして結実

牛久市が山梨県甲州市とともに申請していた令和2年度日本遺産のテーマ「日本ワイン140年史〜国産ブドウで醸造する和文化的結晶〜」が文化庁により認定されました。県内では2件目の認定になります。平成29年に両市長が「日本ワイン」をテーマに日本遺産の共同申請に合意して以来、認定に向けた取り組みを地道に続け、3年目にして結実、悲願の日本遺産認定を勝ち取りました。日本遺産認定という喜ばしいニュースは、

日本遺産認定に関するこれまでの経緯

- 平成28年5月～
日本遺産をテーマに認定自治体等を招いて市民向けの講座を実施。
- 平成29年5月
根本牛久市長と田辺甲州市長が会談し、「日本ワイン」をテーマに日本遺産認定に取り組むことで合意。
- 平成30年1月
「日本ワインの歴史ロマン薫る風景～近代化と先人たちのワイン醸造140年～」というタイトルで平成30年度日本遺産に申請。→同年5月に認定発表、落選。
- 平成31年1月
「一大物産たるべきを確信す」「日本ワイン」の夜明けを謳う」というタイトルで、平成31年度日本遺産に申請。→同年5月に認定発表、落選。
- 令和2年1月
「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文化的結晶～」というタイトルで令和2年度日本遺産申請。
- 令和2年6月
令和2年度日本遺産認定発表。認定。

日本遺産とは？

文化庁が平成27年度から創設した制度で、地域に点在する有形・無形の文化財をパッケージ化し、我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」に認定する仕組みです。



日本のワイン文化の広まりに貢献した両市の文化的・経済的な交流と発展にも繋がることでしょう。

●牛久市長 根本洋治



今回の認定は、牛久市と甲州市が続けてきた地道な交流事業をはじめ、市のシンボルのひとつでもある牛久シャトーなどの文化資源の継承を、市民の皆さんと協働で取り組んできたことを、高く評価していただいたものと考えております。これからも、日本遺産を構成する歴史文化資源を活用しながら、広域的・国際的な交流を進め、市民の皆さんとともに、将来にわたって誇りと愛着を持てる魅力的な市となるよう全力で取り組んでまいります。ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

●甲州市長 鈴木幹夫

牛久市と甲州市は、方法は違えどもわが国のワイン醸造の黎明期を支え、一大産業となした功績を持ちます。今回の日本遺産認定を機に、改めて「日本ワイン」の魁となった先人たちに敬意を表しますとともに、先人たちの功績に光を当てつつ、両市の文化的・経済的な交流と発展に繋げるべく、ともに手を取り進んでいきますよう、改めてお願い申し上げます。

●オエノンHD(株)代表取締役社長 西永裕司

牛久シャトー旧醸造場施設の歴史的価値については、2007年の「近代化産業遺産」認定、2008年の「国の重要文化財」指定と、これまでも非常に高く評価されてまいりました。このたびの「日本遺産」認定により、文化財としての価値だけでなく、歴史的経緯や地域の風土など「日本ワイン」の発展を語るストーリーが広く発信され、牛久市ならびに甲州市の地域活性化の一助に牛久シャトーが活用されることを強く期待しております。



〈牛久市〉①②③明治36(1903)年に神谷傳兵衛が建設した日本初の本格的ワイン醸造場「シャトーカミヤ旧醸造場施設(現・牛久シャトー)」④明治14(1881)年発売開始「蜂印香竈葡萄酒」⑤神谷葡萄園から牛久醸造場(現・牛久シャトー)へのブドウの運搬などに利用されたトロッコ⑥「蜂印香竈葡萄酒」販売宣伝用ポスター 〈甲州市〉⑦明治12(1879)年に醸造された日本最古のワイン⑧ワインの輸送などに利用された祝橋⑨勝沼のぶどう栽培用具および葡萄酒醸造用具⑩柏和葡萄酒を営んでいる大善寺。祭事には御神酒としてワインが振る舞われる⑪明治25(1892)年に宮崎光太郎が建設した醸造場「宮光園」に建つ石碑

認定された
ストーリー

日本ワイン140年史

～国産ブドウで醸造する和文化の結晶～



〈ストーリー概要〉

国産ブドウを原料とし、国内で醸造される「日本ワイン」。その140年にわたる歴史において重要な地位を占めるのが山梨県甲州市と茨城県牛久市である。甲州市は地元のブドウ農家との共存繁栄をはかり、広大なブドウ畑と新旧30ものワイナリーを誕生させるに至った。



牛久市の「牛久シャトー」は、ブドウ栽培から醸造までの一貫した工程を構築し、大規模な醸造体制を確立した。明治の文明開化期、国営では果たせなかったワイン醸造を、それぞれの地域の特性を生かして民間の力で成し遂げたのである。切磋琢磨して日本のワイン文化の広まりに貢献した二つのまちに息づく歴史を知れば、ワインの味わいもより深くなる。



主な構成文化財

(牛久市)

- シャトーカミヤ旧醸造場施設3棟 (旧事務室・旧醱酵室・旧貯蔵庫)
- シャトーカミヤ旧醸造場施設醸造用具
- 蜂印香竈葡萄酒 ●各国博覧会受賞牌
- 牛久シャトー所蔵資料(神谷葡萄園芳名録ほか)

(甲州市)

- 旧宮崎葡萄酒醸造場施設(宮光園・宮崎第二醸造場)
- 『葡萄三説』及び葡萄三説草稿
- 伝統あるワイナリー ●大善寺のワイン文化

